

第16回 埼玉県競輪事業検討委員会 資料1

「埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について」

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

1 県営競輪の開催状況

- 大宮双輪場(さいたま市)・西武園競輪場(所沢市)の2か所で競輪を開催している。

大宮双輪場

- ・昭和24年1月開設
- ・埼玉県(都市整備部)が所有
- ・使用料 1.3億円(R7)
- ・照明設備なし、ナイター・ミッドナイト開催不可
- ・東日本で初めて競輪開催



西武園競輪場

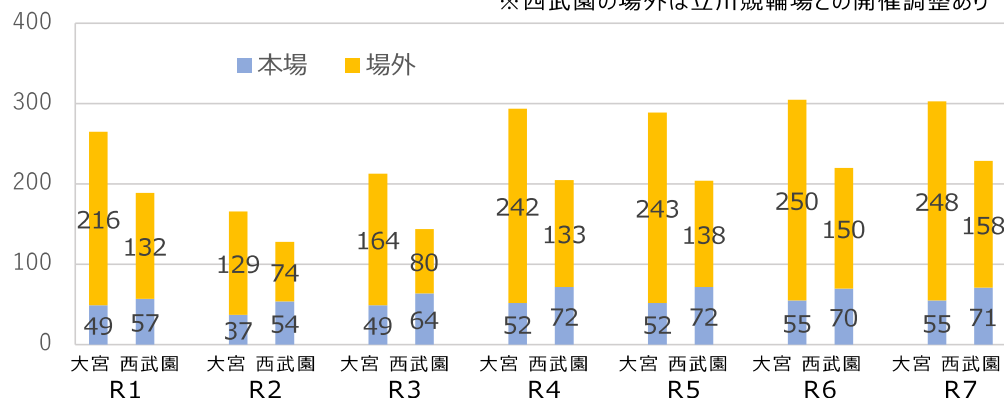
- ・昭和25年5月開設
- ・西武レクリエーション(株)から賃借
- ・使用料 4.4億円(R7)
- ・平成28年度、本県が移動照明車を購入。ナイター・ミッドナイト開催可能。
- ・令和4・5年度にG Iを開催



- 開催日数のうち、本場開催は、大宮が55日/年・西武園が70日/年程度で照明設備のある西武園の方が多い。

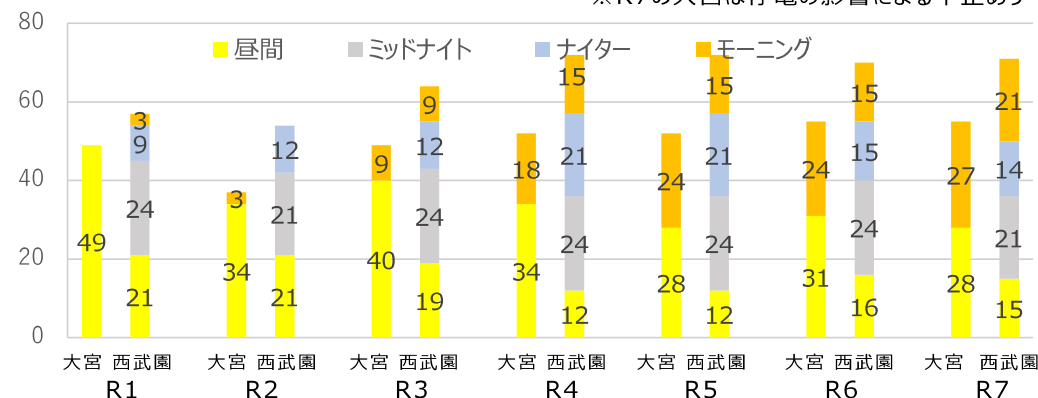
○開催日数の推移

※西武園の場外は立川競輪場との開催調整あり



○開催形態(本場)の推移

※R2,3はコロナの影響による中止あり
※R7の大宮は停電の影響による中止あり

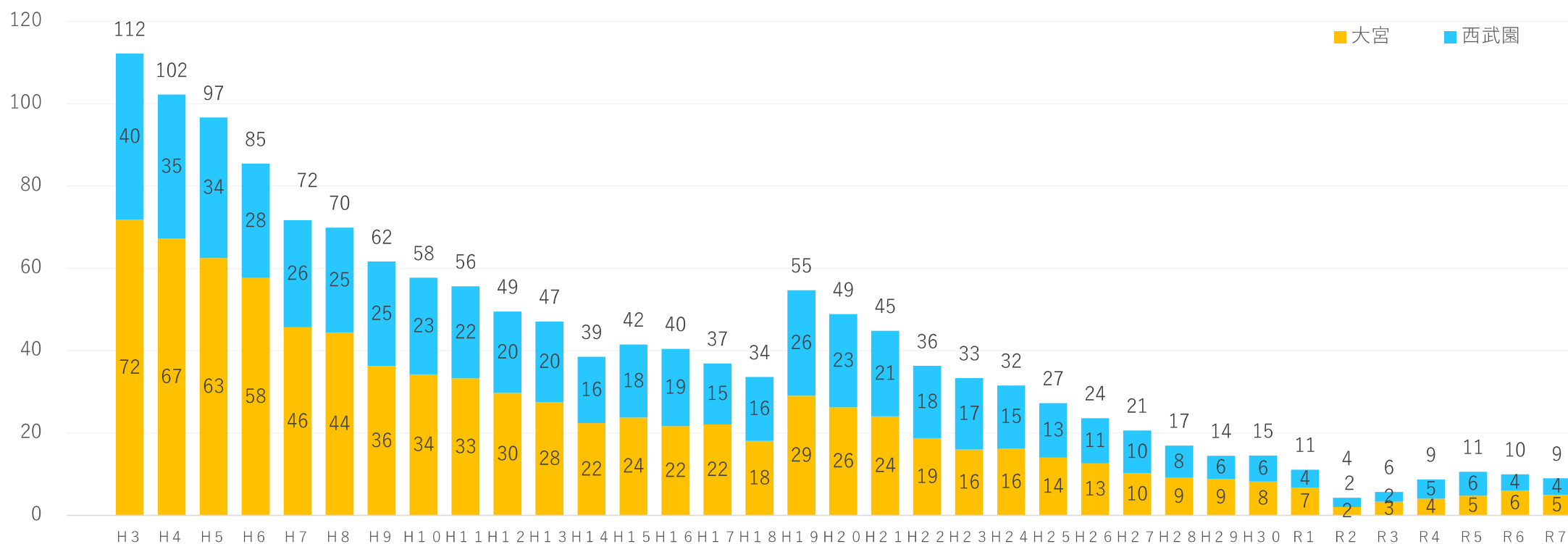


埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 本場開催時の入場者数の推移

- 令和7年度の入場者数は、入場者が少ないモーニング開催が増加した影響もあり、令和6年度と比較して約5千人減少した約9万人。
- 県営競輪の売上ピークである平成3年度の入場者数と比較すると、令和7年度の入場者数は▲92%となっている。

(単位：万人)



※平成19年度から6市(さいたま市、川口市、熊谷市、川越市、所沢市、行田市)の開催を県が引き継いだ。

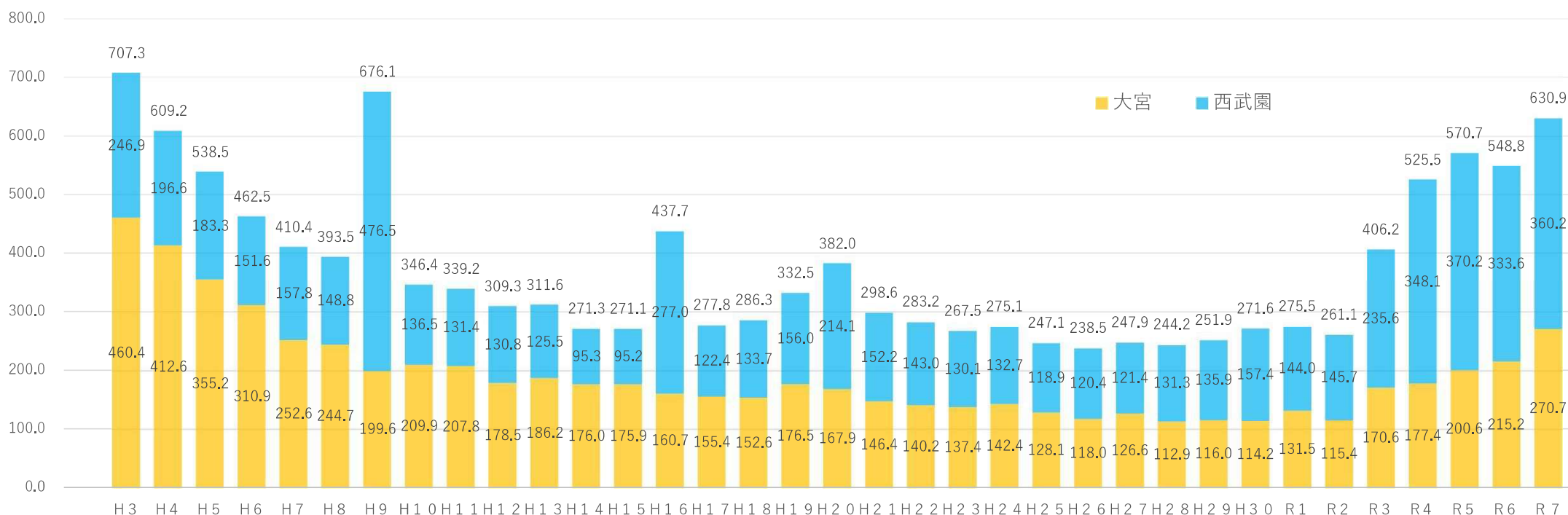
埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3 本場売上の推移

■ 令和7年度の本場売上は、西武園競輪場でGⅢ開催が1開催増えたことや、好調なインターネット投票を背景に売上が伸長し、631億円と、前年度比+82億円（15%増）となった。

■ 売上は平成3年度(707億円)をピークに減少。平成26年度(239億円)を底に反転し、近年は著しい増加傾向である。

(単位：億円)

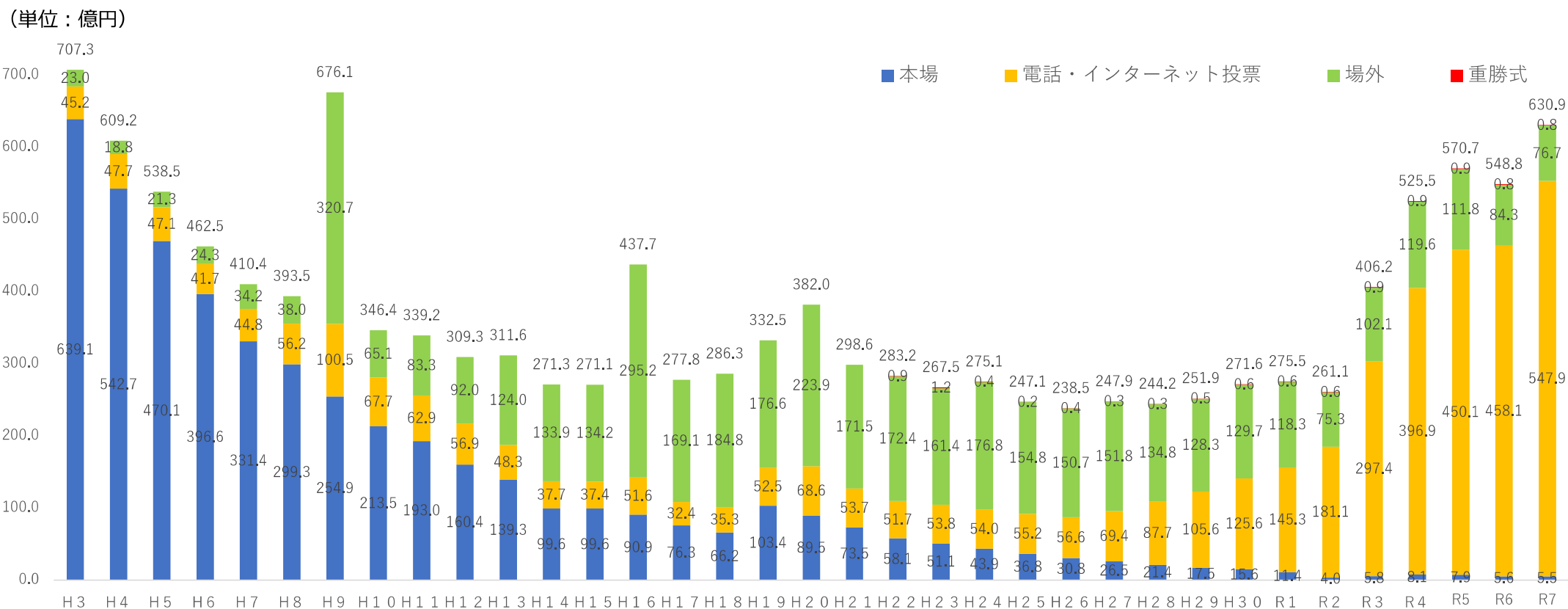


※H9,H16,H20,R4,R5は西武園でGⅠ開催。R2はコロナの影響で6開催中止。 ※R7は大宮で停電の影響で1開催中止。 ※売上には5重勝式、Dokanto!は含まない。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

4 チャンネル別売上の推移（２場）

- 令和７年度のチャンネル別売上は、電話・インターネット投票が約９割を占めた。
- 加えて、電話・インターネット投票の売上額は前年度比＋２０％の５４８億円であり、引き続き伸長すると見込んでいる。

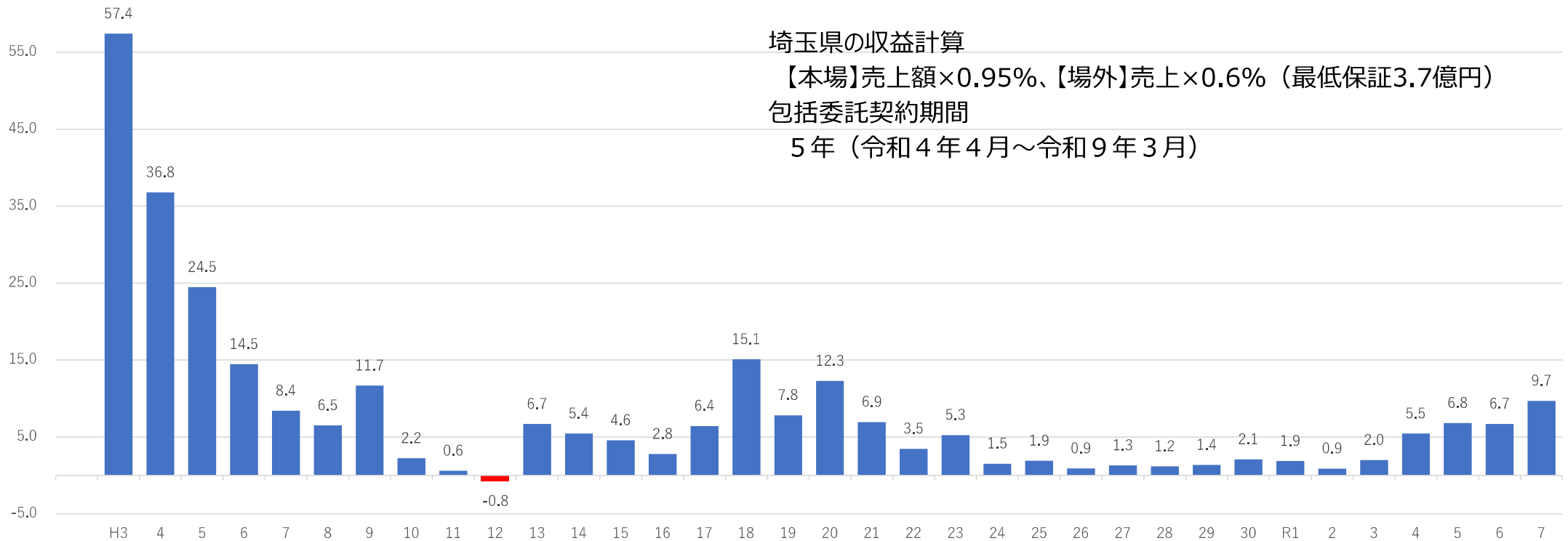


埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

5 競輪事業収益の推移

- 令和7年度の収益は、9.7億円となった。
- 平成2年度の57.6億円をピークに減少傾向で近年は2億円を下回る状況が続いていたが、令和4年度から新たな包括業務委託契約の締結や好調な電話・インターネット投票の売上により、県収益は改善傾向にある。

(単位：億円 ※基金運用益含む)



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

6 課題に対する取組

- 埼玉県競輪事業検討委員会の報告書「県営競輪の現状と課題」で示された課題への対応策に取り組んでいる。
- 太字の項目について、次ページ以降で説明。

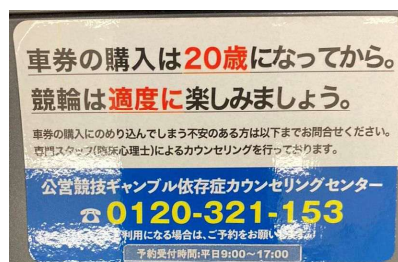
	課題	対応策	
1	県収益の向上	①売上が見込めるレースの誘致 ③西武園の受託場外発売の開催調整の再検討 ⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実	②投資効果を考えた集中的な投資 ④大宮、西武園の車券を販売する場外車券売場の増加
2	競輪事業の活性化	①一般入場料の無料化 ③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催 ⑤競輪を楽しめる演出の実施 ⑦地元を拠点としたエンターテインメント企業との連携 ⑨他団体との連携 ⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化	②競輪初心者向けのイベント、演出の実施 ④競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致 ⑥団体客誘致のためのBOX席設置の検討 ⑧スポーツ・バーと連携したネット車券販売の展開 ⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施
3	イメージアップ	①スポーツとしての競輪の魅力発信 ③社会貢献のアピールの継続的な実施 ⑤Jリーグのブランディングの研究	②自転車競技の普及に向けた取組の充実 ④目的、方向性を掲げた事業の実施

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

1－⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実

■ 取組内容

- すべての投票機に注意を促すステッカー「車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。」を貼付。
- 場内モニターやポスター及び場内放送において注意喚起や相談窓口の周知などを実施。
- 「埼玉県ギャンブル依存症専門会議」に構成員として参画し、関係者と情報共有を実施。また、同会議で制作したオリジナルの啓発カードを配布。
- 県の規則に基づき、ギャンブル依存に係る相談のあった1名に対し、競輪場等への入場禁止措置を実施（本人からの申し出）。



～投票機への注意喚起標語ステッカーの掲載～



～場内モニター表示～



～啓発カードの配布～



■ 今後の展開

- 業界と足並みを揃え、他場の取組も参考に周知啓発や相談対応を実施し、必要に応じて入場禁止措置を含めて対応する。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2-②競輪初心者向けのイベント、演出の実施

(1) SNSアカウント(栃崎KEIRIN'S)の運営による初心者向けのプロモーション

■ 取組内容

- 県と宇都宮市が連携し、初心者やネットユーザーをリアルな競輪場に呼び込む目的で実施。
- 宿口陽一選手や森田一郎選手といった人気選手出演のYouTubeライブ配信を実施（4回）
このほか初心者も楽しめるショート動画（109本）、選手に密着した動画（15本）を作成
※発信本数は、埼玉県と宇都宮市の合計

■ 今後の展開

- 引き続き、様々なコンテンツを製作・配信し、新たなファンの獲得を図る。
《目標:令和8年度も同規模の本数でYouTubeライブ・動画制作を実施》



(2) 西武園記念競輪(GⅢ)、大宮記念競輪(GⅢ)の地元選手応援スタンド

■ 取組内容

- 両競輪場の記念競輪(GⅢ)において、地元選手出走時に選手を応援する「埼玉応援スタンド」を設置。
西武園記念では「同担シート」と題して推し活を後押し。大宮記念ではファミリー向け応援スタンドも設置。

■ 今後の展開

- 競輪場に初めて来たファンがシンプルに楽しめるイベントを展開。
《目標:西武園記念競輪、大宮記念競輪において展開》

(3) 初心者ガイダンスの充実

■ 取組内容

- 本場開催時にブースを設置し、競輪のいろはから車券購入までレクチャーを実施。
R7年度は、大宮で2回、西武園で6回実施し、延べ455名が参加。

■ 今後の展開

- 定期的に実施し、新規競輪ファンの拡大を図る。《目標:大宮・西武園で各1回以上実施》



～大宮記念競輪「ファミリー応援スタンド」～

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2－③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催

■ 取組内容

- 障害者アートのパネル展示を継続。（場内の壁面に常設展示）
- 場内施設の利活用と美観向上、障害者アーティストの活動支援や社会的認知の促進を目的とし、「大宮競輪Heartfulアート2025」として、新たなパネル展示作品を募集、展示。
 - 1 募集作品のテーマ
「競輪」または「居心地の良い場所」
 - 2 募集期間
令和7年4月1日から6月20日まで
 - 3 展示
最優秀作品1点、優秀作品5点を採用し、令和7年9月27日からパネル展示
- 優秀作品を手掛けた6名のアーティストに対し表彰式を実施。
(令和7年10月1日)

■ 今後の展開

- 令和8年度に新たなパネル展示を実施(4月1日より公募開始)するとともに、その後も継続的な取組を実施していく。



～パネル展示（R7年度優秀作品）～



～表彰式の様子～

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2－④競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致

2－⑤競輪を楽しめる演出の実施

■ 取組内容

- 埼玉県と宇都宮市の連携を活かし、“肉祭”を開催した。
【8/30(土)-31(日)@西武園競輪場：計620人利用 1/17(土)-18(日)@大宮双輪場：計1,620人利用】
- 大宮記念競輪(GⅢ)において、東日本大震災からの復興支援の一環として「ふくしまレストラン」を出店し、福島県の食材を利用したメニューを販売。
- 西武園記念競輪(GⅢ)及び大宮記念競輪(GⅢ)において、地元選手出走時に選手を応援する「埼玉応援スタンド」を設置。スティックバルーンを配布し、一体感のある応援で開催を盛り上げた。【再掲】



～肉祭（大宮記念競輪）～



～ふくしまレストラン（大宮記念競輪）～



～選手応援スタンド（大宮記念競輪）～

■ 今後の展開

- 令和8年度も多くの集客が見込める開催日にグルメイベントを開催し、競輪以外のレジャー価値を提供していくとともに、来場者が自転車競走やレース観戦を楽しめる取組を継続していく。《目標：西武園記念競輪、大宮記念競輪で展開》

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2－⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化

(1) 公園周遊イベント“謎解き宝探しラリー in 大宮公園”の開催

■ 取組内容

- 大宮双輪場をメイン会場とし、大宮公園内（動物園やボート池）をスポットとして周遊する“謎解き宝探しラリー in 大宮公園”を開催。【1/17(土)-18(日)@大宮双輪場・大宮公園】
- SNSやWEB、チラシ・ポスターなどによる広報の充実を図り、2日間の合計で1,129人が参加。
- 場内（公園内）周遊を通じて「双輪場はこんなにも充実している場所なんだと感激した」といった声をいただいた。

■ 今後の展開

- 大宮公園と一体化した周遊イベント等を開催することで、双輪場及び大宮公園のレジャー価値向上を図る。
《目標:令和8年度の大宮記念競輪(GⅢ)において開催》



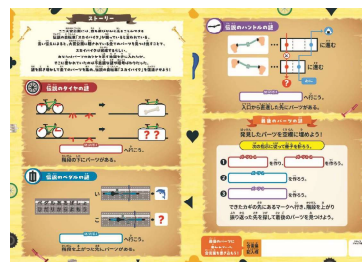
(2) スポーツイベント“NACK5チームラン”の開催

■ 取組内容

- NACK5が主催する「第8回NACK5チームランin大宮公園」のメイン会場として大宮双輪場を提供。【2/1(日)@大宮双輪場】
- 場内にキッチンカー出店や競輪体験ブース出展を行うとともに、公園内で行われたグルメ・スポーツイベントとスタンプラリーで連携。
- 来園者の相互交流や公園内周遊を促進し、双輪場内には6,308人が来場。

■ 今後の展開

- 公園内施設・運営者が一体となってイベントを開催し、来園者のレジャー価値向上を図る。《目標:令和8年度も継続して開催》



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2－⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施

選手会から「競輪の魅力を伝えることができる機会があれば協力したい」との話を受け、各種イベント等において、現役選手が直接競輪の魅力を伝える取組を実施した。また、高校生による選抜レース、バンクの自転車走行体験などを実施し、幅広い層にスポーツ・自転車競技としての競輪の魅力を訴求した。

■ 取組内容

- 西武園記念競輪(GⅢ)及び大宮記念競輪(GⅢ)において、選手会ブース出展やファンサービスイベントを実施。（競輪選手参加）
- 【西武園】納涼祭において選手会ブースを出展。（競輪選手協力）
- さいたま市内のイベント（サイクルフェスタ等）や商業施設（イオンレイクタウン、イオンモール与野）などに競輪体験アトラクションを出展。（適宜競輪選手が参加）
- 【大宮】大宮記念競輪(GⅢ)で「第6回埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯」を開催。（競輪選手協力）
- 【西武園】小学生向けの職業体験教室「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車競技教室」を実施。（競輪選手参加）
- 【大宮】大宮双輪場内OMIYA キッズバイク PARK内にボルダリングエリアを新設。
- 【大宮】大宮双輪場バンク内芝生エリアで野球・サッカー教室を開催。

■ 今後の展開

- 今後も、選手との対話を続けながら競輪のスポーツ・自転車競技としての魅力を発信し、他のプロスポーツとの連携も模索しつつ、魅力的な取組を展開していく。《目標：令和8年度も各取組を継続して実施》



～競輪体験アトラクション～



～高等学校選抜ケイリン表彰式～



～西武園競輪場 職業体験教室～



～大宮双輪場ボルダリングエリア～



～大宮双輪場バンク内 野球教室～